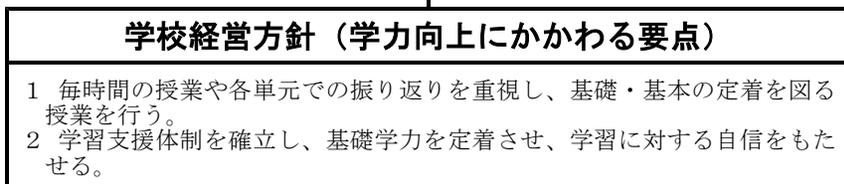
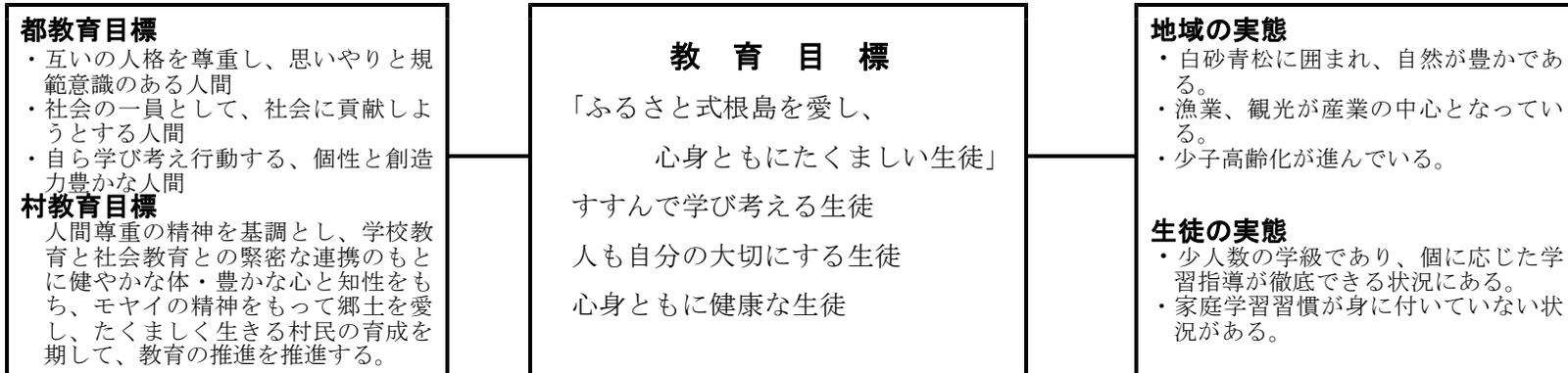


『授業改善推進プラン』

【学力向上を図るための全体計画】



【各教科の指導の重点】

- 個に応じたわかりやすい授業を工夫し、基礎学力の向上を図る。
- 授業ごとにきめ細かな評価を実施し、生徒の学習状況を的確につかみ、授業での振り返り活動や学習支援を積極的に行う。

【総合学習の指導の重点】

- 各学年の発達段階に応じて進路指導とキャリア教育の充実を努め、系統性をもった単元を設定し、生徒自らが課題を見つけ、それを解決していく中で生きる力を培う。
- 全学年で郷土理解学習に取り組み、郷土に対する理解を深め、郷土を創造する力を育む。
- 体験活動を重視します

【生活指導の指導の重点】

- ガイダンス機能を生かし生徒理解を深め、一人一人の個性の把握と伸長を図る。
- 学校サポートチームを活用し、家庭や地域との連携を図り、基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。
- 種々の体験活動を通して、集団や社会の一員としての自覚や公共心を育成するとともに自他を尊重する態度を育成する。

【道徳教育の指導の重点】

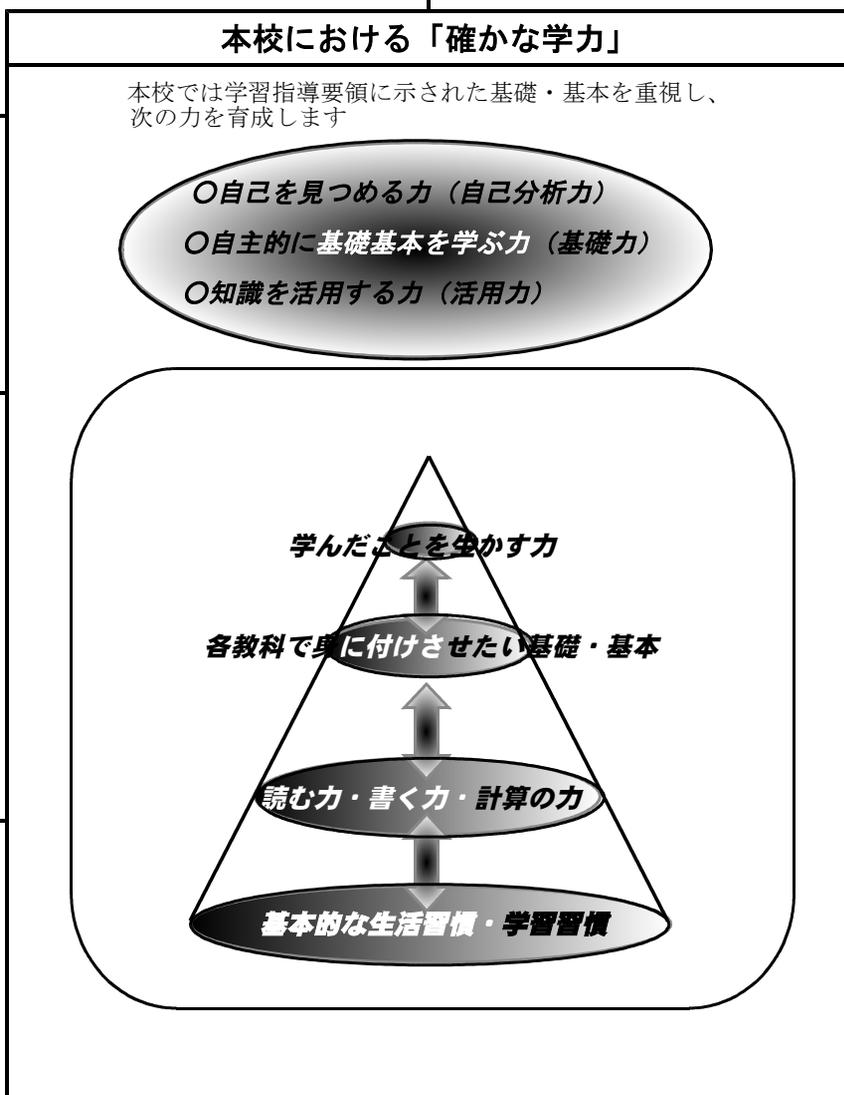
- 人権尊重の精神を基調に教育活動全体を通じて、道徳的実践力と規範意識の向上を図る。
- 道徳教育の重要性を家庭・地域に発信し、社会の一員としての規範意識や公共心、思いやりのある心を育む。

【特別活動の指導の重点】

- 生徒会活動や部活動、ボランティア活動などで連携事業の充実を図り、自主的な生徒会活動を通して、連帯、協力、奉仕のモヤイの精神を育むとともにリーダーシップとフォロワーシップを発揮できるようにする。
- 生徒一人一人の活躍の場を広げ、コミュニケーション能力を高め、集団での役割や責任を果たす態度と自覚を深めさせるようにする。

【進路指導の指導の重点】

- 職場体験、職場訪問、職業人に聞く会などの活動を通して、自分の進路や生き方について考え、自己決定できる力を培う。
- 自己理解を深めさせることにより、進路について主体的にかつ真剣に考える能力や態度を養う。
- 自己実現をめざし、小中高の連携を密にし、キャリア教育を進める。



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
各学力調査の結果をもとに教科としての分析及び生徒個人への分析を行い、教科の指導内容・方法の改善に努め、少人数学級の特性を生かした個に応じた指導を実践する。	毎時間の授業や各単元での振り返りを重視し、基礎・基本の定着を図る授業を行う。また、学習支援体制を確立し、基礎学力を定着させ、学習に対する自信をもたせる。	学ぶ意欲を高めるために、個に応じた学習目標を設定した指導について、校内研修で検証します。また、都教委訪問、各研修会の折に指導主事に指導助言を受けます。	各教科の定期テスト・単元テストや授業ごとの評価を行い、個に応じた課題の把握に努め、しっかりした基礎学力の定着と向上を図る。また、評価評定を学期ごとに家庭に通知する。	生徒の家庭での生活状況をアンケート調査で把握し、学習面での課題を家庭と共有し、家庭学習の習慣を身に付けるよう家庭への協力を体制を図ります。学力調査の経過や指導法の改善策などを保護者や地域の方に説明していきます。